

イクセル Ixelles / Elsene エルスヌ



シリーズで紹介しようと思っていた、ブリュッセルの主な区の記事ですが、2011年1月の「ユックル Uccle / ウックル Ukkel」からすっかりご無沙汰になっていました。元気になったスタッフは、散歩も兼ねて早速取材活動を再開しました。

イクセル/エルスヌは、ベルギー589市町村の一つで、首都ブリュッセル市内にあります。区内は他のブリュッセル区内同様にフランス語、オランダ語が通じます。人口は、約8万4千人（2013年）で、ブリュッセル区のルーズ通りを挟んで、東西に分かれています。

区名イクセル/エルスヌは、榛（ハン）の木の生息地「hameau d'Elsele」から来ています。というのも、昔この地区の草原や池の周りに榛の木がたくさん生えていたそうです。そういう訳で、イクセル/エルスヌの紋章も上記右のように榛の木となっています。

区の北側、地下鉄 Louise/LouizaからPorte de Namur/Naamsepoort 境界や、イクセル通り、ワーブル通りは商業地区で、老若男女が買い物を楽しんでいます。St Boniface教会付近は、マトンゲ（matongéまたはmatongé）



イクセル通り (Chaussée d'Ixelles/Elsensesteenweg)

と呼ばれる、元ベルギー植民地のコンゴからの黒人が多く住む地区です。また、アジア人、インド・パキスタン人もたくさん住んでいます。ですからこの境界の食品店では、我々も食べる野菜、オクラやサツマイモなどを購入することができます。

南に行くと、アパートマンやテラスハウスの住宅街になり、さらに南下するとビラ（villa）と呼ばれる四方を庭に囲まれた一戸建ても増えてきます。ブリュッセル自由大学周辺には、学生用の小さいアパートもあります。

国鉄（SNCB/NMBS）ルクセンブルグ駅（Luxembourg/Luxemburg）近辺は、欧州共同体本部のある地区でヨーロッパ色が豊かです。ルクセンブルグ広場には、レストランやカフェが並び、ビジネスマンの憩いの場所となっています。

では、お薦めコースを歩いてみましょう。まずは、小さいお子さんが楽しめるテンボッシュ公園（parc Tenbosch/Tenboschpark）に出かけましょう。



公園は木々や散歩道と芝生で仕切られていて、一見小さい公園と思いがちですが、実際は広い公園です。遊具のある子ども用遊び場や、球技用のスペースがあります。ベンチもあるので、散歩時の休憩やおしゃべりの場として利用したりと、皆さんが緑多い公園を楽しんでいます。また、タオルを持参して芝生に寝転がって日光浴をしたりと、様々な使い方をしています。動物の散歩もOKで、糞始末用の袋も置いてあります。



ここから歩いて、アールヌーボーの建物（Rue de la Vallée）を見ながらカンブル修道院に行ってみましょう。ブリュッセルには、オルタ作をはじめ数々のアールヌーボーの建物があります。イクセル/エルスヌにもアールヌーボーの建物がいくつかありますので、上も向いて歩くと発見がありますよ。カンブル修道院方向へは下り坂なので、のんびり歩いてみましょう。車からは異なった景色に出会い、首都ブリュッセルの違った面を見られるでしょう。

和食レストラン 従業員募集

ブリュッセルの和食レストランが、日本人、または日本語の話せる人を探しています。

料理のできる方、給仕のできる方。
フルタイム、ハーフタイム、短時間勤務など
ご希望に合わせます。

詳細は ☎0479 79 94 70まで(日・英・仏)

お任せ下さい！
国際引越は、

KOYANAGI WORLDWIDE

送った荷物には笑顔で
再会したいものです。

Tel: 02 726 7032

Fax: 02 726 8791

Email: omatsu@koyanagiworldwide.com
koyanagiww@skynet.be



知らない地区を散策して、街を知ろう！

取材のため歩いて写真を撮り、元気一杯のスタッフが紹介するレポートです。



カンブル修道院入り口手前にも公園（jardin de l'Abbaye de la Cambre/Tuinen van de Ter Kamerenabdij）があり、本を読む大人やおやつを食べる子どもたちでにぎわっています。修道院には入れませんが、左手の教会は、日曜日にミサがありますので、静かにのぞいてみましょう。



ここからイクセル/エルスヌの池まで行ってみましょう。道路を挟んで2つに分かれた細長い池の周りを歩いたり、芝生に座って読書や昼寝など、週末には、皆それぞれの過ごし方をしています。ここでのんびりしていると、都会の喧騒を忘れれますね。時々こういう自然パワーを浴びるのも、体の都会デトックスになっていいかもしれません。



この池の先にフラジェー広場（Place Flagey/Flageyplein）があります。元ラジオ局をカルチャーセンターにして、コンサート会場「Flagey」やカンブル建築学校になったりしています。広場の地下には駐車場があり、コンサート会場へ出かけたり、広場の周りにある店舗での買い物を楽しむ人で、平日は人があふれています。この地区には、ベルギー人をはじめ、フランス

人、ポルトガル人、モロッコ人など世界各国の人たちが活動しています。

この広場には、ブリュッセル10大フリット店の一つ「Frit Fragey」があります。ここで一服して、複数の中から選べるソースでおいしいフリットを味わってみましょう（フリット大€2.50、フリット小€2.20、ソース€0.60）。ソースを別入りにしてもらい、外はカリカリ、中はホクホクのフリットのみを味わってみると、一層おいしさが分かります。



ベルギー名物の一つフリットでお腹を満たしたら、もう少しがんばって歩きましょう。ここからはイクセル通りを登っていきます。まだまだ上り坂と思いながら登っていたら、意外にもすぐにイクセル/エルスヌ区役所にたどり着きました。広場に小さいお城のようにそびえ立つ区役所です。

ここまで歩いたら、のども渴きますね。カフェで一服して、水分を補給しましょう。ビールで体を活性化するという手もあります。さらにおいしいお菓子で体力増進なんてのもいいですね。好きなスタイルで体を癒やしましょう。



ここから地下鉄ナミュール駅に向かうイクセル通りは、店舗が立ち並ぶ商業地区になります。しっかり散歩したご褒美に、自分へのプレゼントを選んでみてはいかがでしょうか。明日からの活力にもなることと思います。

美術館（Musée d'Ixelles/Museum van Elsene）もお勧めです。Rue Jean Van Volsem 71, 1050 Bruxelles www.museedixelles.be

期間限定

年末年始 ANAバス運行 予約受付中！

ブリュッセル・アントワープ、デュッセルドルフ空港間でANAバスを運行します。年末年始のご帰国にご利用ください。



12月20・21・22日

1月3・4・5日



ブリュッセル・アントワープ発

デュッセルドルフ空港発

ECONOMY CLASS エコノミークラス
ご利用のお客様



手荷物1個追加になります！



詳しくは日系代理店（JAPAN PIトラベル、藤トラベル、JAPAN EXPRESS TRAVEL）にお問い合わせください。

ANA Inspiration of JAPAN